

News release

2025 年 8 月 4 日
PwC リスクアドバイザリー合同会社

PwC リスクアドバイザリー、音声データのフォレンジック調査と 平時のモニタリング需要増加に備え、 Audio Discovery サービスを提供開始

PwC リスクアドバイザリー合同会社（東京都千代田区、代表執行役：山上 真人、以下「PwC リスクアドバイザリー」）は、音声データのフォレンジック調査と平時のモニタリング需要の増加に備え、本日より Audio Discovery サービスの提供を開始します。

従来は 100 時間の音声データを文字に起こすためにスタッフが約 500 時間かける必要がありましたが、AI ツールを活用することで反訳作成作業に関し最大 9 割の時間短縮を実現しました*。一つの会話に複数言語が混在する場合でも言語の違いを認識し、また言い間違いなども補正した状態で文字に起こし、レビューツールと接続する仕組みとしました。これにより、テキスト化された音声データに対してキーワード検索を含む各種フィルタリングによる絞り込みを行い、重要なポイントを限定して確認することができるようになり、スピードが求められるフォレンジック調査において、音声データを積極的に調査していくことが可能となりました。

不正調査や内部通報の初期調査のほか、電話の通話そのものを日常的に録音・記録・保管する機会が多い銀行・証券・補助金申請・コールセンターなどの定期モニタリングにも当該サービスを活用いただくことが可能です。

*2025 年 4 月の当社検証結果に基づく。

Audio Discovery サービスによる作業効率の向上

	反訳のマニュアル作業	Audio Discovery
リソース	反訳作成に係る音声データの管理、進捗確認、入力それぞれにマンパワーを要する	反訳作業について、基本的にマンパワーは発生しない
文字起こし精度	音声聞き取り、手作業で反訳するため、作業によって精度にムラがある	日本語、英語、中国語で高い精度を保ち、また多言語対応が可能
作業負担	テキスト化するまで検索することができず、また音声の流れにない場合でも、実際に流れていないことを確認する必要がある	レビュープラットフォームと組み合わせることで、キーワードを利用して、特定の音声ファイルや会話された時間の特定可能
時間	正確に反訳する際、音声再生時間の4～5倍の時間を要する実績がある	反訳作成について、大幅な時間の短縮を実現

※2025年4月現在、当社検証結果に基づき、比較しています。

※詳しくはサービスページをご確認ください。<https://www.pwc.com/jp/ja/press-room/2025/audio-discovery.html>

PwC リスクアドバイザリーは、フォレンジックサービスの一つとして、チャット・メールモニタリング、音声解析などを含む「コミュニケーションモニタリング」を提供しています。今回提供開始する Audio Discovery は、音声解析について新しく加わるサービスとなります。「コミュニケーションモニタリング」は不正発覚時だけでなく、平時でもパワーハラスメントやセクシャルハラスメントなどのようなコンプライアンス観点でのモニタリングのリスク早期検知のために活用することが可能です。

【Audio Discovery サービスを活用するメリット】

- 音声データも積極的に、効率的に解析していくことで、企業の不正の真実をより早く解明し、企業の速やかな再発防止策の策定、信頼回復につなげることができる。
- 平時のリスクモニタリングに音声データを含めることで、より実効性のあるモニタリングの実施が可能となり、不正の早期発見、解決につなげることができる。

「コミュニケーションモニタリング」において音声データの重要性はますます増していくことが予想されます。テキストデータは消去されてもデジタルフォレンジックの技術で復元できることが一般的に知られてきています。今後は不正行為者が証拠を残さないよう、メールやチャットなどを利用しない方向にシフトすること考えられます。受け手が録音した電話などの音声データが社内ルールなどの適切なプロセスを経て証拠として提出されるケースが増えた場合でも、PwC リスクアドバイザリーが効率的に調査を行うことができます。そのため、抜け穴を塞ぐ一定の効果があります。

PwC Japan グループでは、企業のインシデント対応を総合的に支援する「インシデントレスポンスサービス」や、平時からのインシデントに備える活動を支援する「フォレンジックコンシェルジュ」を提供しています。企業の要望、案件内容に応じてグループ各社が連携して最適な体制で支援いたします。

インシデントレスポンスサービス

<https://www.pwc.com/jp/ja/services/risk-and-governance/incident-response.html>

フォレンジックコンシェルジュ

<https://www.pwc.com/jp/ja/services/risk-and-governance/forensic-concierge.html>

PwC リスクアドバイザリーは、PwC の Purpose (存在意義) である「社会における信頼を構築し、重要な課題を解決する」を実現するため、リスクを予測し早めに備えることで、企業の不正の防止、不正発生後の速やかな信頼回復を支援してまいります。

以上

PwC リスクアドバイザリー合同会社について

www.pwc.com/jp/risk-advisory

PwC リスクアドバイザリー合同会社は、会計不正、品質不正、贈収賄および不正競争などに関する事実調査やリスクマネジメント、デジタルフォレンジックス、e ディスカバリーへの対応やロイヤリティ監査など、広範なフォレンジックサービスを提供し、企業価値の毀損につながるさまざまな問題の防止、発生に際しての事実解明と、根本原因の究明を通じて、本質的な問題解決を図るための支援を行います。

PwC Japanグループについて

www.pwc.com/jp

PwC Japan グループは、日本における PwC グローバルネットワークのメンバーファームおよびそれらの関連会社の総称です。各法人は独立した別法人として事業を行っています。



複雑化・多様化する企業の経営課題に対し、PwC Japan グループでは、監査およびブローダーアシュアランスサービス、コンサルティング、ディールアドバイザリー、税務、そして法務における卓越した専門性を結集し、それらを有機的に協働させる体制を整えています。また、公認会計士、税理士、弁護士、その他専門スタッフ約 12,700 人を擁するプロフェッショナル・サービス・ネットワークとして、クライアントニーズにより的確に対応したサービスの提供に努めています。

© 2025 PwC Risk Advisory LLC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.